

2022年12月15日

各 位

会社名 サイボウズ株式会社
本店所在地 東京都中央区日本橋二丁目7番1号
代表者の役職氏名 代表取締役社長 青野 慶久
(コード番号4776 プライム市場)
問い合わせ先 IR担当
電話番号 03-6671-9525

連結業績予想、個別業績予想の修正、 次期業績予想、および次期配当予想に関するお知らせ

当社は、2022年10月25日に公表した2022年12月期通期の連結業績予想、個別業績予想の修正、次期業績予想、および次期配当予想について、下記のとおりお知らせいたします。なお、当期(2022年12月期)配当予想については変更ありません。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 2022年12月期 通期連結業績予想数値の修正 (2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2022年10月25日公表)	百万円 21,964	百万円 254	百万円 550	百万円 ▲169	円 銭 ▲3.68
今回修正予想(B)	22,052	626	1,133	203	4.42
増減額(B-A)	88	372	583	372	-
増減率(%)	0.4%	146.5%	106.0%	-	-
(ご参考) 前年同期実績 (2021年12月期)	18,489	1,441	1,468	551	12.03

(2) 業績予想修正の理由

今回の修正としましては、売上予測と投資予定費用の見直しを行ったため最新の業績予想を公開するものです。売上高につきましては、国内のクラウド事業の売上が堅調に推移し前予想と比べ88百万円増加し22,052百万円となる見通しです。利益項目につきましては、営業利益は前予想と比べ372百万円増加し626百万円、経常利益は前予想と比べて583百万円増加し1,133百万円となる見通しです。全体の投資方針に変更はありませんが、年内の投資計画を精査する中で、広告宣伝費、オフィス関連費等、各投資施策で年内に費消しないことが確定した予算が積みあがってきたことが主な要因です。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前予想と比べて372百万円増加し203百万円となる見通しです。

2. 個別業績予想の修正

(1) 2022年12月期 個別業績予想値の修正 (2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2022年10月25日公表)	百万円 21,304	百万円 2,821	百万円 ▲112	円 銭 ▲2.44
今回修正予想(B)	21,371	3,390	298	6.49
増減額(B-A)	67	569	410	—
増減率(%)	0.3%	20.2%	—	—
(ご参考)前年同期実績 (2021年12月期)	18,021	3,214	226	4.94

(2) 業績予想修正の理由

今回の修正としましては、売上予測と投資予定費用の見直しを行ったため最新の業績予想を公開するものです。変更の理由については、連結業績予想の修正理由と同様であるため、記載を省略します。

3. 次期業績予想

(1) 次期業績予想開示の理由

本日取締役会において、次期業績見通しが決議されましたのでお知らせいたします。

なお、次期につきましても、クラウド事業の環境変化をとらえつつ、状況に応じて機動的に投資していくことを基本方針といたします。見通しについても常に変化を続ける状況であることから、2023年2月13日公表予定の2022年12月期決算短信も含め、今後も次期業績予想が変更になる可能性があります。

(2) 2023年12月期 連結業績予想 (2023年1月1日～2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
2023年12月期 (通期)	百万円 25,497	百万円 2,376	百万円 2,450	百万円 1,541	円 銭 33.58

(3) 次期連結業績の見通し

2023年12月期の連結売上高はクラウド関連事業が引き続き伸長し、25,497百万円となる見込みです。ストックビジネスであるクラウド事業は契約社数が53,000社を超え、既存顧客によるユーザー数追加も順調であり、今後もこの傾向は継続すると考えております。クラウド事業の堅調な売上増加を踏まえ、次期も引き続き将来の収益力を高めるための積極的な投資を行いたいと考えております。特に、積極的な人員採用や昇給等に伴い人件費が増加し、クラウド事業拡大に伴いデータセンターの運用、保守等の費用についても増加する予定です。一方、広告宣伝投資につきましては、当期までの積極的な投資の結果、一定の認知度獲得が出来たと考えていることから、次期については、認知度維持のための投資に抑える予定です。

この結果、利益項目につきましては、営業利益2,376百万円、経常利益2,450百万円となる予定です。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、1,541百万円となる見通しです。これは主に法人税等903百万円を計上する見込みであるためです。当社は国内において収益を獲得し、その収益を米国を中心とした海外市場における積極投資施策として使用しております。そのため、国内においては利益に応じた法人税を計上しておりますが、一部の国外子会社において赤字決算を計上しており、連結業績としては損益通算されるため、利益に対する法人税の負担割合が一般的な税率に比べて高くなっております。

なお、当社はクラウド事業の環境変化に対して機動的に対応し、都度最適な投資判断を実施することとしているため、予測値は常に変動いたします。今後の進捗につきましても、状況に変動が生じ次第、即時に開示を実施することで、常に社内と社外の情報格差がない状態を維持していく予定です。

(4) 2023年12月期 個別業績予想 (2023年1月1日～2023年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
2023年12月期 (通期)	百万円 24,699	百万円 3,383	百万円 1,543	円 銭 33.63

(5) 次期個別業績の見通し

2023年12月期の個別業績の見通しにつきましては連結業績見通しの傾向と同様であり、売上高は24,699百万円となる見込みです。利益項目につきましては、経常利益は3,383百万円となる見込みです。当期純利益につきましては、主に連結子会社である Kintone Corporation (米国) 株式会社について減損処理を行う見通しであり、そのための関係会社株式評価損を特別損失に織り込んでいることや、法人税等の計上を見込んでいること等から、当期純利益が1,543百万円となる見通しです。

4. 次期配当予想

(1) 2023年12月期 配当予想の内容 (2023年1月1日～2023年12月31日)

	年間配当金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
次期予想 (2023年12月期)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 14.00	円 銭 14.00

(2) 次期配当予想の理由

当社は持続的な成長を目的としております。そのため主力であるクラウド事業の拡充に向けた機動的投資の重要性を高く認識すると共に、業績動向等を勘案した上で、株主の皆様の長期保有につながるような利益還元策の実施を基本方針としております。

この基本方針のもと、次期配当予想については、2023年12月期連結業績はクラウド事業が堅調に売上増加する見込みであることから、当期配当予想額より1株当たり1円増額し、1株当たり年間配当予想を14円といたします。なお、今後の業績動向や投資状況の変化によって変更する可能性があります。

(参考) 年間配当の内訳

	年間配当金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
次期予想 (2023年12月期)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 14.00	円 銭 14.00
当期予想 (2022年12月期)	—	0.00	—	13.00	13.00
前期実績 (2021年12月期)	—	0.00	—	12.00	12.00

以上